

No.	025	—	3001	事務事業名	中央図書館管理運営費	細事務事業名		公的関与	6				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	文化振興係	電話番号	089-964-3414	メールアドレス	tosyo@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	16年度～年度				
	総合計画	政策目標	第4章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 生涯学習社会の推進		主要施策	(2) 読書活動の推進と図書館利用の促進				
	事業の対象	東温市中央図書館				根拠法令	図書館法・東温市図書館条例						
	事業の目的	最終的	市民一人一人が生涯を通じて学びあい、自己を高め、充実した人生を送るとともにその成果がまちづくりに生かせるよう図書館施設・資料の充実を図ります。			今年度	貸出利用者の増加に努めたい。						
	活動内容	①	資料(情報)の提供。				④	天文観測室の運営管理。					
		②	資料(情報)の収集・保存・管理。				⑤	中央図書館・移動図書館・川内分館の維持管理。					
		③	図書館協議会の運営。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標			
		図書館登録率	登録者数÷人口×100		%	目標	55	60	65	70			
実績			59	62									
図書回転率		貸出冊数÷蔵書数×100		%	目標	150	150	150	200				
		実績		109	116								
住民一人当たり図書貸出数		貸出冊数÷人口		冊	目標	7	7	7	10				
	実績		5	5									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育			費				
	直接事業費		平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	65千円	64千円	72千円								
		一般財源	36,849千円	40,829千円	45,176千円								
	計(A)	36,914千円	40,893千円	45,248千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	3.972人	23,689千円	3.912人	23,519千円	3.912人	23,984千円					
		臨時職員工数・経費	8.968人	17,281千円	8.968人	17,703千円	8.968人	17,801千円					
	全体事業費(A+B)		77,884千円	82,115千円	87,034千円								
一次評価者	文化振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	図書館法に基づく生涯学習拠点であり、資料の収集・保存において他の実施主体はありません。また、読書や調査・学習施設としての役割も広く市民に理解されています。日々の利用者は安定していて、市民生活に密着した施設です。												
有効性	主要施策の目的において、図書館の設備、機能の充実が謳われており、機能は他の生涯学習関連施設に重複するものではありません。また、図書館サービスの充実により利用者の増加につながることから、継続していく必要があります。												
達成度	開館時間は、県内の施設でもトップクラスのサービスを展開しています。その影響で、登録率・回転率とも高い目標値を設定しています。今後も、今の水準を維持していくものと思われまます。												
効率性	現在の図書館運営システムは、最小のコストで最大の効果が得られる物になっており、他の実施手段よりも効果的です。												
当面の課題	施設が建築から32年経過しており、利用者のニーズに沿った施設改修について検討が必要です。また、最新の資料の提供方法や利用者のニーズに対応できていないことなども課題となっています。												
改計画	図書館の改修、利用者ニーズへの対応などについて、計画的に実施できるよう検討していきます。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	中予圏域での図書貸出しサービスが開始され、今後も利用者が増加すると思われまますが、結果的に図書館間のサービス競争にもなりますので、今まで以上に利用者サービスの向上に努めてください。												

No.	025	—	3020	事務事業名	移動図書館管理運営事業	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	文化振興係	電話番号	089-964-3414	メールアドレス	tosyo@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度				
	総合計画	政策目標	第4章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 生涯学習社会の推進		主要施策	(2) 読書活動の推進と図書館利用の促進				
	事業の対象	市民(中央図書館や川内分館を利用しにくい住民)				根拠法令	図書館法・東温市立図書館条例						
	事業の目的	最終的	図書館を通じてよりよい学習環境を提供することを目的とするとともに、移動図書館により図書館サービスを市内全域に提供することは、生涯学習の地域格差を解消するものです。			今年度	貸出利用者の増加に努めます。						
	活動内容	①	市内74ヶ所のステーションを巡回。			④							
		②	資料(情報)の提供。			⑤							
		③	資料(情報)の収集・保存・管理。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標			
		貸出利用者数(移動図書館のみ)		前74ステーションの延べ利用者数		人	目標 10,000	10,000	10,000	10,000			
市内の移動図書館カバー率		ステーション設置要望に対する設置率		%	目標 100	100	100	100					
					実績 5,072	4,911							
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育			費				
	直接事業費		平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	1,698千円	1,863千円	1,537千円								
	計(A)	1,698千円	1,863千円	1,537千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.106人	632千円	0.106人	637千円	0.106人	650千円					
		臨時職員工数・経費	1.708人	3,291千円	1.108人	2,187千円	1.108人	2,199千円					
	全体事業費(A+B)		5,622千円	4,687千円	4,386千円								
一次評価者	文化振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	市内の広範囲に図書館サービスを行き渡らせるために、移動図書館の果たす役割は大きいことから必要な事業です。												
有効性	図書館に来館できない利用者のために、市内幼稚園や図書館からの遠隔地を重点に巡回しており、他市長に比べても充実した内容を少ないコストで実現しています。												
達成度	利用者はここ数年、少子高齢化等により減少していますが、巡回場所等の利用しやすい環境は確保できています。												
効率性	移動図書館の管理と運営をパート職員により対応しており経費の削減に努めています。												
当面の課題	利用者が少子高齢化等により減少していますので、利用者ニーズに沿った資料の定期的な入れ替えや企画展示などの検討を要すると考えます。												
改 革 画	より良い、図書資料の展示及びより良い接客サービスを心がけます。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	利用者の多くは高齢者が多く、自動車運転免許返納や定期バス便の減少など、特に中山間地の市民へのサービスとしては今後益々重要となると考えられます。巡回ルートの見直しは当然、ニーズに沿った図書の配備などを工夫するよう努めてください。												

No.	025	—	3041	事務事業名	埋蔵文化財試掘・本発掘調査	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	文化振興係	電話番号	089-964-0701	メールアドレス	rekimin@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	経常的事務事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度				
	総合計画	政策目標	第4章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	4 文化・スポーツの推進		主要施策	(1) 地域文化の継承・発展と文化財の保存・活用				
	事業の対象	周知の埋蔵文化財包蔵地内での土木工事等				根拠法令	文化財保護法						
	事業の目的	最終的	周知の埋蔵文化財包蔵地内での土木工事に先立ち、試掘・発掘調査を実施し、埋蔵文化財を保護します。			今年度							
	活動内容	①	土木工事等が周知の埋蔵文化財包蔵地に該当しないかどうかの事前協議を行います。(建設部局からの合議という方法で実施)			④	試掘・確認調査の報告書を作成し、県教委へ進達します。県教委からの指示を事業者へ送付します。						
		②	事業者から市へ周知の埋蔵文化財包蔵地での試掘・確認調査依頼。			⑤	出土物があった場合は遺失物法により届出を行います。(後に県から市へ譲渡。展示等で活用します。)						
		③	必要に応じて、試掘・確認調査を行います。(試掘・確認調査の一部は業者へ委託して実施)										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標			
				事務の性質上、指標設定になじまない。		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
				実績									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育			費				
	直接事業費		平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	1,937 千円	1,226 千円	2,479 千円								
	計(A)	1,937 千円	1,226 千円	2,479 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.154 人	918 千円	0.154 人	926 千円	0.154 人	944 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		2,855 千円	2,152 千円	3,423 千円								
一次評価者	文化振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	民間委託等
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	国民の財産である埋蔵文化財を保護するために、周知の埋蔵文化財包蔵地内での埋蔵文化財の有無、範囲、時代等を把握するための方法としては試掘・確認調査は必要です。												
有効性	発掘・確認調査を実施することで、地下にある遺跡の有無・範囲・時代等を把握することで、工事に対し遺跡の保存等、協議を行うことができます。												
達成度	周知の埋蔵文化財包蔵地内での土木工事等は、建設部局からの合着(事前協議)で確認を行っており、埋蔵文化財包蔵地内で無届工事の防止という面では目的を達しています。												
効率性	対象となる土木工事の内、未調査箇所や工事内容によって試掘・確認調査を実施します。実施済みの箇所は、過去の調査データを参考とします。												
当面の課題	担当者が1名であるため、長期間の発掘調査と重なった場合は、調査時期の調整が難しい場合があります。												
改革計画	試掘、確認調査が必要な場合は、できるだけ調査を早く実施することや、他調査と重なった場合は調整を行い、スムーズに調査が完了し、県教委からの工事指示書を事業者へ渡します。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	1	今後の方向性	民間委託等
二次評価での指摘事項	事業件数は、予め想定することが難しいため、担当職員の増員は困難であり、むしろ事業実施の際に迅速に調査が行えるよう、委託業者との契約方法などの工夫を検討して下さい。												

No.	025	—	3042	事務事業名	文化財整備事業	細事務事業名	向井古墳清掃委託事業	公的関与	1				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	文化振興係	電話番号	089-964-0701	メールアドレス	rekimin@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度				
	総合計画	政策目標	第4章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	4 文化・スポーツの推進		主要施策	(1) 地域文化の継承・発展と文化財の保存・活用				
	事業の対象	東温市指定史跡向井古墳史跡公園				根拠法令	文化財保護法						
	事業の目的	最終的	向井古墳史跡公園や施設内の簡易トイレの清掃や除草及び植栽の手入れを樋口老人クラブへ委託し、公園利用者が快適に古墳見学を行えるよう整備します。			今年度							
	活動内容	①	向井古墳史跡公園内のごみ清掃、除草、植栽木の管理、トイレ清掃。			④							
		②	公園内設備全般の事故及び破損等の発見時の応急処置及び市への報告。			⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標			
		利用者からの苦情		苦情件数		回	目標 0	0	0	—			
					実績 0	0							
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育			費				
	直接事業費		平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	150 千円	150 千円	150 千円								
	計(A)	150 千円	151 千円	151 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.020 人	119 千円	0.020 人	120 千円	0.020 人	123 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		269 千円	271 千円	274 千円								
一次評価者	文化振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	文化財は市民にとってかけがえのない財産であり、これを保護・保存・公開することは本市の文化行政において欠くことができないものです。史跡公園の清掃委託業務は必要不可欠な業務です。												
有効性	文化財の保護に関わる事業は郷土の文化の向上に有益であり、継続していく必要があります。												
達成度	史跡公園の現場保護のために実施している清掃委託事業は文化財の現状維持に有効です。												
効率性	管理委託を向井古墳史跡公園のある地元老人クラブに委託することは、コストも低く抑えられ、現場状況に詳しいため、現場の変化等に迅速な対応ができます。												
当面の課題	老人クラブ員が高齢化しており、委託事業の受託について今後も継続が可能であるかが課題です。												
改訂計画	古墳公園周辺の文化財に興味のある人材の発掘と老人クラブ会員との合同で清掃委託を受託可能な方向を検討していきます。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	地元団体の管理ということで、コストも安価であり、今後も継続が適当と思われませんが、清掃内容を随時点検するなど、適切な維持管理がなされているかどうかの確認に努めてください。												

No.	025	—	3043	事務事業名	歴史民俗資料館運営事務	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	文化振興係	電話番号	089-964-0701	メールアドレス	rekimin@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第4章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	4 文化・スポーツの推進		主要施策	(1) 地域文化の継承・発展と文化財の保存・活用				
	事業の対象	歴史民俗資料館				根拠法令							
	事業の目的	最終的	歴史民俗資料館が快適に利用できるよう、管理します。			今年度							
	活動内容	①	歴史民俗資料館の管理運営。			④							
		②	歴史民俗資料館展示室のクリーニング清掃。			⑤							
		③	事務用品(消耗品)や備品の購入。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標			
				事務の性質上、指標設定になじまない。		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
				実績									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育			費				
	直接事業費		平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	3 千円	6 千円	6 千円								
		一般財源	1,236 千円	1,300 千円	1,718 千円								
	計(A)	1,239 千円	1,306 千円	1,724 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.496 人	2,958 千円	0.496 人	2,982 千円	0.496 人	3,041 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		4,197 千円	4,288 千円	4,765 千円								
一次評価者	文化振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	施設の管理では、収蔵庫、展示室の空調管理が重要です。また、施設の改修については図書館と一体のため総合的な検討が必要です。												
有効性	収蔵物を損なわない管理が重要です。また、展示施設でもあるため、来館者が利用しやすい環境の保持が必要です。収蔵品や展示の情報提供に努めてまいります。												
達成度	施設の大規模な改修工事は予定されていませんが、修繕については、速やかに対応して、来館者に不都合が生じないようにしています。												
効率性	市立図書館の3階にあるため、館内の階段壁面を利用して展示PR用のパネルやポスターを掲示しています。												
当面の課題	建築より30年以上経過しており、老朽化に対して部分修繕等を行っていますが、年々修繕箇所や機器の故障が増加しています。												
改計画	老朽化等による大規模な修繕工事やLED化について、図書館も含めて改修計画を作成します。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	2	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	今後整備が予定される別館収蔵庫についても、公開展示できるよう検討していますので、本館と別館の2箇所での効果的な展示と、来館者(見学者)を増やす工夫を検討して下さい。												